

# 入試選抜ルートの違いからみた 学生のジェネリックスキルを PROGテストで検証

---

産業能率大学 入試企画部

林 巧 樹

HAYASHI\_Koki@hj.sanno.ac.jp

## 本学事例からの問題提起

---

- 指定校推薦入試はAO入試よりも機能しているといえるのか？
  - AO入試は選抜機能を果たしているのか？
  - キャリア教育の接続によりコンピテンシーを育成することは可能か？
  - これまでの価値観による学生評価の弊害  
ーコンピテンシーに注目することで見方が変わるー
  - 学生の行動変容を促すためには、何が有効なのか？
-

# 自己紹介

- 林 巧 樹
- 1959年生まれ 52歳
- 1984年～1996年社会人教育部門
- 企業・自治体での組織内研修、コンサルテーションに関する普及活動
- クライアント企業(セイコーエプソン、フジテレビ、CBSソニーグループ(現SME)、全日空 その他多数)
- 1997年より入試センター勤務 全国の高校へ訪問活動
- 1999年度AO入試開設
- 2007年度キャリア教育接続入試開設
- 2006年度より「高校生のためのキャリア開発プログラム」実施
- 2007年度より「キャリア教育推進フォーラム」実施

## PROGテスト・コンピテンシーに注目！ その理由は

社会人教育時代に多くの経営者、管理職、一般職と接し、有能な人材とそうでない人材との共通点を感じる

成果主義の導入により学歴格差による処遇体系から実力主義に！

研修の場をどう捉えるかで企業文化・風土は見えてくる

ある管理職研修での出来事からアタマで考える力が高くてダメだと痛感する(1996年の出来事！)

キャリア教育とは何か？と模索するなかドリカムプランの和田先生に出会う(キャリア教育推進フォーラムでの講演)

AO入試で問うのはまさに意欲と姿勢。また高校生に伝わっているか？

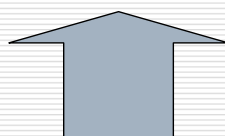
コンピテンシーはその姿勢をはかれるのではないかと期待すると同時にコンピテンシーの高い学生を入学させているかを検証してみた

# 物事に一生懸命取り組む その姿勢を育てること、 それこそが 一番のキャリア教育

## 分析した経営学部の特性

- 男女比率=5:5
- 入試チャンネル=指定校推薦・AO入試・キャリア教育接続入試・一般入試・センター試験利用入試の5つの選抜ルート(中堅私大では比較的少ない)
- キャリア教育接続入試=経営学部オリジナル入試(AO入試の一環として実施)
- 出願資格としてキャリア教育による成果物を保持していること

仮説



キャリア教育はジェネリックスキル(特にコンピテンシー)を育成することにつながる

# 入試選抜ルート分析

---

- 入試選抜ルート比較
  - 男女比較
  - 総合学科VS普通科(キャリア教育接続入試)
  - 初年次ゼミ教員によるリーダー的存在学生のPROGスコア
- 

# 入試選抜ルートの違いからみた 学生のジェネリックスキル

---

- 学力試験での入学者は、河合塾指摘のとおりリテラシー高く、コンピテンシー低い
  - 特にセンター利用入試でのリテラシーは高い
  - AO入試での入学者は、リテラシー低く、コンピテンシー高いことを証明
  - 特にキャリア教育接続入試は、コンピテンシー高く、リテラシーも低くない
  - 一方、高校との信頼関係として実施している指定校推薦での入学者は…
  - PROGテストの観点から識別すると、課題とされる入試はこれまでと異なった基準となる→これは大きな収穫
  - また高校側への別な視点でのフィードバックが可能となった  
キャリア教育の新たな着眼点=コンピテンシーの育成
-

## これまでの価値観による学生評価の弊害

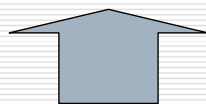
AO入試の学生か・・・勉強できないんだろうな・・・

この学生は真面目だな・・・  
やっぱり指定校推薦だから

英語(数学)補修クラスの学生か・・・高校で何やってきてるんだ！(高校で何教えてるんだ)

センター入試の学生は優秀なんだからもっと入学させてほしい

この学生の髪型はひどいな・・・英語の成績も悪いし・・・なんでこんな学生入学させたんだ！



このような声なき声(あるいは直接)を聞くことはありませんか？

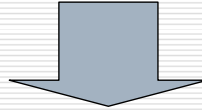
## 二人の学生

- AO入試 I 期 入試評価＝全く同じ
- 出身高校＝ほぼ同ランクの中堅都立高校出身
- 高校成績など＝同じランク 部活のみ異なる
- 入学前学力確認テスト＝英語：A>B 国語：A<B
- 髪型など＝写真ご覧ください

## コンピテンシーに注目することで見方が変わる

---

- 二人の学生事例からの学び
- PROGテストを実施していなければ、二人の学生共に似たような評価(過去の)
- PROGテスト結果からA君の評価は急変する



### 今後のPROGテスト活用について

- 初年次ゼミでのクラスorグループ分けに利用する
- 低コンピテンシー学生と高い学生を意図的に交流させる
- AO入試の視点にコンピテンシーをはかる尺度を検討する

## 学生からのPROGテスト報告

---

## 学生の行動変容を促すために

---

- 自分自身を理解することが出発点  
→教科学力ではない自身の能力を見つめる
  - アクティブラーニングによる学習機会の提供  
→リテラシーを発揮する場面の提供とコンピテンシーを育成する経験を連続的に実施
  - コンピテンシーの高い学生の行動様式に触れることで気づきをもたらす
  - 社会人としての教員の力を発揮する
-